

事業所名

児童発達支援センター lapoale

支援プログラム (参考様式)

作成日

2025 年

2 月

1 日

法人 (事業所) 理念	デザインとアイデアを正しく使い、世の中を幸せにする					
支援方針	専門的なアプローチに特化し、お子さまの「可能性」を引き出す					
営業時間	8 時	30 分	17 時	30 分	送迎実施の有無	あり
支援内容						
本人支援	健康・生活	個別療育/集団療育： <ul style="list-style-type: none"> ・利用しているお子様の健康と安全な生活を支援するため、生活リズムや食事・身だしなみ等も利用の際に確認し健康状態・発達状態の把握を行います。 ・日常生活に必要な、起居動作、移乗・移動、食事、更衣、排泄、入浴 (洗体)、整容につながる練習を遊びの中で取り組みます。 ・また季節ごとの活動・園外活動などを通して、成長とともに広がる社会生活への自立に向けた経験・練習の場も提供いたします。 【プログラム：自由遊び、はじまりの会、道具の練習、休憩時間(トイレ誘導等)、クッキング活動】				
	運動・感覚	個別療育： <ul style="list-style-type: none"> ・1対1の関わりの中で、遊び等を通して視覚・聴覚・触覚等の感覚入力を促し支援します。 ・1対1の集中しやすい環境から、こだわりによる偏りを理解し個々に合わせた対応を取らせていただきます。 【プログラム：発達段階に合わせ運動学習、道具を使った感覚遊び、困り感や得意に合わせた課題と環境の設定】 集団療育： <ul style="list-style-type: none"> ・小集団という環境を生かし、いい意味で周りにつられて流されること・周囲のお友達の動きを模倣をしてみることを促します。 ・お友達と体を動かす、遊ぶという事が“楽しい”ということを共有しお伝えします。 【プログラム：サーキット、ボール・風船遊び、外遊び、トランポリン、鉄棒、体操、マット、ルール遊び、指の体操】				
	認知・行動	個別療育： <ul style="list-style-type: none"> ・お子様の見る、聞く、触るなどの感覚を使って、周りの情報を取り入れられるようサポートし認知力の発達を促します。 ・1対1の集中しやすい環境から、周囲の情報・状況を理解し、次の行動につなげる力を育てる支援をします。 ・お子様に話せたおもちゃなどを使って、形や色・音・数の違い・硬さ・質感などの経験から知覚へ動きかけます。 集団療育： <ul style="list-style-type: none"> ・見る力、聞く力、触る力を使って周りの情報をしっかり理解し、考える力を育てます。 ・また、情報をもとに「次に何をするか」を判断し、行動に移せる力をサポートします。 ・遊びや日常生活を通して、形や色、音、数などを楽しく学び、行動の手がかりにします。 ・お子様の特性に合わせたサポートも行い、安心して成長できる環境を整えます。 【プログラム：言葉の練習、お勉強、道具の練習、感覚遊び、製作、指の体操、クッキング活動】				
	言語 コミュニケーション	個別療育： <ul style="list-style-type: none"> ・お子様の成長される速度・興味・好みに応じて、一対一の遊びの中で言語との関わりを増やし自発的な発声を促すために、物や経験と言葉の関連付けを支援します。 ・口頭言語や文字・記号を使って意図を理解し伝えるための支援を提供しています。 ・伝わる楽しさややり取りの重要さを、より個別療育という環境の中でわかりやすく取り組んでおります。 集団療育： <ul style="list-style-type: none"> ・同世代のお友達との集団活動中で、相互作用を通じてコミュニケーション能力を向上させる取り組みや、指差しや身振り、サインなどを活用し環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する取り組みも行っています。 ・就学前の準備として読み書き能力の向上を目指し、読み書き障害の子どもたちにも適切な支援を提供しています。 【プログラム：自由遊び、はじまりの会、言葉の練習、お勉強、感覚遊び】				
	人間関係 社会性	個別療育： <ul style="list-style-type: none"> ・お子様が他者との関係を築き、豊かな社会性を育むための総合的なサポートを提供しています。 ・大人のサポートを通じて自己の行動や感情を理解し、調整する力を身につけ、感情のコントロールができるよう支援します。 ・担当となるスタッフを決め、療育現場での安全基地を作り安心安全を保障する土台をつくります。 ・個別の環境のなかで愛着行動を通じて信頼関係を基盤に、他者との安定した関係を形成する支援を行います。 集団療育： <ul style="list-style-type: none"> ・遊びを通じて他者の行動を模倣することで、社会性や対人関係の発達を促します。 ・一人遊びから協同遊びへと進み、ルールを守りながら他者と協力して遊ぶことを学びます。 ・感覚や運動を使った遊びから、ごっこ遊びなどの象徴的な遊びに移行することで、子どもの社会性を育てます。 ・集団活動に参加するための手順やルールを理解し、集団中での適切な行動を促すサポートを行います。 【プログラム：自由遊び、はじまりの会、言葉の練習、おやつ買いイベント、ルール遊び、クッキング活動】				
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・支援場面に見学や参加ができる環境を整えた相談援助 ・担当のスタッフを決め、伴走者がいることでの保護者様とのラポールを築く ・連絡帳等のアプリを使用した、タイムリーな情報共有に対応 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援事業による、ライフステージに合わせた本人の見立ての共有と環境設定、集団生活の中での直接支援 ・通園先、または本人に関わる各所との積極的な連携 【関係機関連携会議】			
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児等療育支援事業による相談援助、療育体験の提案 ・併用事業所、医療機関等との積極的な関係機関連携 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な社内研修 (症例・事例検討、人権、虐待防止、感染安全管理、リスク管理等) ・外部講師からの研修、現場指導 ・社外研修への積極的な参加とフィードバック 			
主な行事等	おやつ買いイベント、クッキングイベント、サマーマルシェ、消防見学、芋の苗植え・芋掘り、プール、季節のイベント					